

Sustainable Report No.079

食べられるレジ袋 『キャツサバ袋』

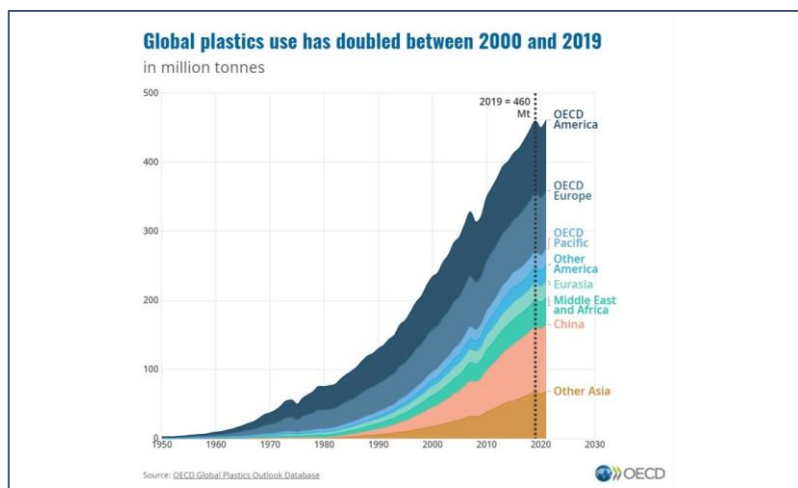


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 増えるプラスチックごみと環境問題

- プラスチックは、1950年以降に世界で83億トンを超える量が生産され、63億トンが破棄、そのうち**79%は埋め立てまたは海洋などへ投棄**されている。
- プラスチック製品は多くの物が使い捨ての商品のため、使用後は捨てられる事が多く、**リサイクル可能な物はごく一部**に過ぎない。
- プラスチックごみが海に流れ、それを誤飲してしまった**海の生き物が窒息や腸閉塞で命を落と**している。

■ プラスチックごみの発生量



出典：科学技術振興機構

■ 水中を漂うプラスチックごみ



出典：gooddoマガジン編集部

プラスチック製の容器包装の対策がすすむ

■ 完全再生可能なレジ袋

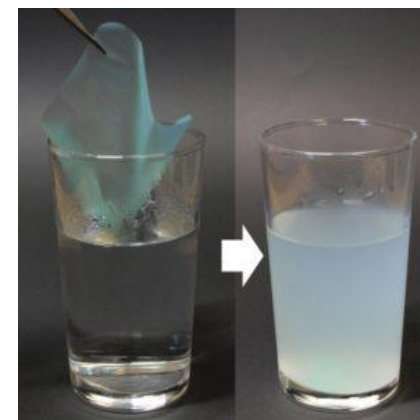
- インドネシアのバリに拠点を置く**エコテクノロジー企業『AVANI（アバニ）』**は、**完全再生可能な天然成分**から作られた商品を生産し、主にリゾート施設へ提供している。
- 同社が開発した**食べても無害なレジ袋**は、タピオカの原料でもあるキャッサバイモを使用。90日以内に土に還り肥料となり、80度以上のお湯に入れると溶ける。
- 自然環境に流れても問題がないものの、完全再生するための静脈物流が整っていないのではないか。

■ AVANIのキャッサバ袋

子供やペットなどが食品と一緒に誤飲した場合も安心



■ 熱湯に溶ける様子



出典：AVANI（左・中央）、横浜国際開発合同会社（右）

容器包装の再生判断と回収の難しさが表れる

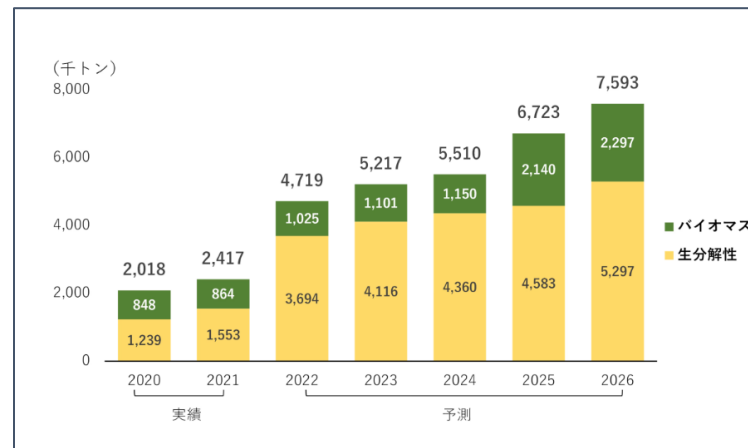
■ 活用方法を見つけ普及させコスト軽減を

- 一般的にプラスチック製品に比べて代替品は高価格の傾向があり、導入できる事業者が限られるのではないかと懸念されています。効率的な回収には、一定のエリア内での普及が望まれる。
- 「消耗品＝廃棄」という先入観が改まり、AVANIが開発したような環境に影響を及ぼさない製品を取扱う企業が増え、普及による価格低下で生活者にも浸透することが理想である。
- 商品価値を測る際には、価格や機能だけでなく、環境価値を含む判断が第一歩となるだろう。

■ 日本でも販売されるキャッサバ袋



■ バイオプラスチック生産能力・予測（世界）



出典：INSECT MARKET（左）、[Bioplastics market data](#) European Bioplasticsより株式会社日本能率協会総合研究所作成（右）

環境商材を広く活用し、海洋汚染の軽減へ

■ 参照・引用資料

- gooddoマガジン編集部, 「レジ袋などのプラスチックごみが原因で起こる海洋汚染について知ろう」, 2022年7月15日
(https://gooddo.jp/magazine/oceans/marine_pollution/plastic_garbage/plastic_bag/10700/)
- 科学技術振興機構, 「2019年のプラごみ発生3億5300万トン OECDが「海洋汚染続く」と警告する報告書」, 2022年2月24日
(https://scienceportal.jst.go.jp/newsflash/20220224_n01/)
- AVANI, 「AVANI公式サイト」, 2022年12月16日参照
(<https://avanieco.com/>)
- NEUT Magazine, 「プラスチックはもう要らない。人間や動物が「食べても死なないレジ袋」登場」, 2017年3月14日
(<https://neutmagazine.com/avani-eco-bag>)
- INSECT MARKET, 「食べられる?! タピオカバッグがまもなくスタート! レジ袋に思う「知らない」という罪」, 2020年11月10日
(<https://content.insect.market/media/edible-bag/>)
- 横浜国際開発合同会社, 「横浜国際開発合同会社公式サイト」, 2022年12月16日参照
(<https://ykindev.com/original/casbag/>)
- 株式会社日本能率協会総合研究所, 「バイオプラスチックの市場規模は? 市場動向の調べ方を徹底解説!」, 2022年9月15日参照
(<https://mdb-biz.jmar.co.jp/column/52>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。